

令和7年度 公益社団法人砂防学会中四国支部 定時総会
議事次第

日時：令和7年6月3日（火）

場所：メール審議

議 題：

1. 令和6年度中四国支部事業報告について
2. 令和7年度中四国支部運営役員について
3. 令和7年度中四国支部事業計画(案)について
4. 令和7年度中四国支部予算(案)について
5. 令和7年度シンポジウムの開催について
6. 令和7年度現地見学会の開催について
7. 令和7年度キャリアガイダンスの開催について

配布資料

- | | | |
|------|--------------------|------------------|
| 資料-1 | 公益社団法人砂防学会中四国支部 | 令和6年度事業報告 |
| 資料-2 | 公益社団法人砂防学会中四国支部 | 令和7年度運営委員名簿(案) |
| 資料-3 | 公益社団法人砂防学会中四国支部 | 令和7年度事業計画(案) |
| 資料-4 | 公益社団法人砂防学会中四国支部 | 令和7年度予算(案) |
| 資料-5 | 令和7年度（公社）砂防学会中四国支部 | シンポジウム議事次第(案) |
| 資料-6 | 令和7年度（公社）砂防学会中四国支部 | 現地見学会(案) |
| 資料-7 | 令和7年度（公社）砂防学会中四国支部 | 砂防関係キャリアガイダンス(案) |

以上

(公社)砂防学会中四国支部 令和6年度事業報告

1.活動方針

地域に密着した活動を通して、砂防に関する技術の交流、技術の向上、情報交換等を図るとともに、中国地域（山口、島根、鳥取、岡山、広島）と四国地域（愛媛、香川、徳島、高知）における災害発生時の緊急調査体制を迅速に整え、行政機関等との災害協定を締結し、災害の実態・原因の迅速な解明、二次災害の防止や災害復旧への貢献、関係機関への情報提供、一般の市民の土砂災害に対する知識や認識の向上等を図る。

令和6年度も支部総会はメール審議とし中四国支部主催のシンポジウムはWebも併用して開催した。

2.活動実績

以下の行事・活動を実施した。

実施日	内容	場所	参加者	備考
6月6日	令和6年度土砂災害防止全国大会	広島県	1,100名	開催協力
6月6日	令和6年度中四国支部定時総会	メール審議	—	主催
6月18日	宮島砂防学習の案内	宮島	63名	協力
10月26日	防災講演会「みんなで考えよう岡山地域の地震防災」	岡山県 Web 併用	127名	後援
11月20日	令和6年度中国地方防災研究会第1回防災講演会・公益社団法人砂防学会中四国支部シンポジウム「8.20広島土砂災害」から10年、あのときの課題はどう克服されてきたか？」	広島県 Web 併用	634名	中国地方防災研究会との共催
11月22日	現地見学会「平成26年8月豪雨災害・平成30年7月豪雨災害の現場周辺」	広島県	22名	主催
12月4日	砂防関係キャリアガイダンス	Web と対面併用	14名	主催

主な活動内容

○宮島砂防学習への協力

・令和6年6月18日(火) 9:00~17:00、ノートルダム女学院中学高等学校(京都市)からの中学3年生(修学旅行生63名)の宮島砂防学習の案内。中四国支部会員7名により案内を行った。

○支部後援の防災講演会

・令和6年10月26日(土) 13:00~17:00、日本技術士会中国本部岡山県支部主催の防災講演会「みんなで考えよう岡山地域の地震防災」(オンライン併用)を後援した。参加者は127名。

○中国地方防災研究会との共催シンポジウム

・令和6年11月20日(水) 14:00~17:15、「令和6年度中国地方防災研究会第1回防災講演会・公益社団法人砂防学会中四国支部シンポジウム~「8.20 広島土砂災害」から10年、あのときの課題はどう克服されてきたか?~」をオンライン併用で開催した。「8.20 広島土砂災害」とはどういう災害だったのか?」「広島豪雨で発生した線状降水帯~発生のおくみと予測に向けて~」の基調講演が行われ、討論会を実施した。参加者は634名。

○支部主催の現地見学会

・令和6年11月22日(金) 9:00~17:00、支部主催の現地見学会を開催した。平成26年8月豪雨災害・平成30年7月豪雨災害の土砂災害現場(広島県広島市・坂町・熊野町)、坂町自然災害伝承公園・伝承ホール、及び、広島市豪雨災害伝承館の見学を行った。国土交通省広島西部山系砂防事務所の川邊副所長、広島県砂防課の平田課長、広島市豪雨災害伝承館松井副館長により説明を受けた。参加者は22名。

○砂防関係キャリアガイダンス

・令和6年12月4日(水) 15:00~17:00、砂防関係の就職に関心を持っている学生向けに中四国支部会員によるキャリアガイダンス(オンラインと対面の併用)を実施した。対面の主会場は広島工業大学(世話人:田中健路教授)、副会場は岡山理科大学(世話人:佐藤丈晴教授)。話題提供は、国土交通省広島西部山系砂防事務所の佐々木美紀所長、広島県土木建築局砂防課の平田遼課長、エイト日本技術開発の只熊典子氏から主な説明が行われ、中電技術コンサルタント、復建調査設計、荒谷建設コンサルタントからの補足説明を追加の後、質疑応答がなされた。学生の参加は14名。

○支部会議等

・令和6年6月6日、メール審議による支部定時総会を実施。
・令和6年4月15日、5月7日、5月30日、7月11日、7月29日、8月22日、10月1日、11月15日、令和7年1月7日、2月4日に、幹事会・打合会を開催・実施。

3.決算報告

令和6年度の決算報告を以下に示す。

実施日	内容	摘要	予算	支出	備考
6月6日	令和6年度土砂災害防止 全国大会	※開催協力のため 支出なし。	—	—	開催協力
6月6日	令和6年度中四国支部 定時総会	※メール審議のため 支出なし。	—	—	主催
6月18日	宮島砂防学習の案内	※会員ボランティア 協力により 支出なし。	—	—	協力
7月～2月	砂防・防災に関する講演会 (他学会・協会と共催)	※WEB開催のため 支出なし。	—	—	主催、共催 後援
11月20日	令和6年度中四国支部 シンポジウム	※共催により 支出なし	10,000	—	共催
11月22日	令和6年度中四国支部 現地見学会	収入57,000 ※1 支出102,040 ※2	40,000	45,040	主催
12月4日	砂防関係キャリアガイダンス	※WEB開催のため 支出なし。	—	—	主催
適宜	土砂災害発生時の 緊急調査、雑費・事務費	—	20,000	—	
合計			70,000	45,040	

※1 参加費：19名×3,000円=57,000円

※2 バス代：96,040円 保険代：1,000円 CPD認定手数料5,000円 計102,040円

(公社)砂防学会中四国支部 監査報告書

2025年4月25日

公益社団法人 砂防学会中四国支部
支部長 海堀 正博 殿

監事 荒木義則 
監事 中井真司 

私たち監事は、2024年4月1日から2025年3月31日までの事業年度の支部長の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1、監査の方法及びその内容

各監事は、支部長及び事務局等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、運営委員会その他重要な会議に出席し、支部長及び事務局等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその付属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類及びその付属明細書について検討いたしました。

2、監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 支部長の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその付属明細書の監査結果

計算書類及びその付属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

(公社)砂防学会中四国支部 令和7年度運営委員名簿(案)

地域	役割	砂防学会 正会員	所属	部署	氏名	
中国	相談役	○	大学・研究 機関関係	広島大学防災・減災研究センター 学術顧問(特命教授)	海堀 正博	
	支部長	○		岡山理科大学生物地球学部生物地球学科 教授	佐藤 文晴	
		○		鳥取大学工学部社会システム土木系学科 教授	三輪 浩	
		○		鳥取大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻 准教授	中村 公一	
		○		鳥取大学工学部社会システム土木系学科 准教授	和田 孝志	
		○		山口大学大学院創成科学研究科 教授	鈴木 素之	
		○		広島工業大学環境学部地球環境学科 教授	田中 健路	
		○		福山市立大学都市経営学部都市経営学科 教授	加藤 誠章	
	副支部長	○		行政関係	中国地方整備局河川部 土砂防災対策分析官	大塚 尚志 (武本 吉弘)
					中国地方整備局河川部河川計画課 課長補佐	武本 吉弘
			中国地方整備局広島西部山系砂防事務所 事務所長		佐々木 美紀	
			近畿中国森林管理局計画保全部治山課 課長		中井 昌之	
			近畿中国森林管理局広島森林管理署 署長		里見 昌記	
			広島県土木建築局砂防課 課長		神田 昌吾	
			広島県農林水産局森林保全課 課長		小谷 美紀	
			鳥取県土整備部河川港湾局治山砂防課		中口 寛	
			鳥根県土木部砂防課 課長		成相 剛	
			鳥根県農林水産部森林整備課 課長 (鳥根県農林水産部森林整備課 森林基盤整備・防災対策室 治山係 課長補佐)		錦織 誠 (藏敷 秀則)	
			岡山県土木部防災砂防課 課長		小野 勝己	
			岡山県農林水産部治山課 課長 (岡山県農林水産部治山課 技師)		井上 昌則 (守本 凜)	
			山口県土木建築部砂防課 課長		岡嶋 賢幸	
			山口県農林水産部森林整備課 課長 (山口県農林水産部 森林整備課 治山林道班 調整監)		長谷川 俊浩 (三浦 秀仁)	
	副支部長	○	民間コン サル関係		中電技術コンサルタント(株)	荒木 義則
	支部監事	○			復建調査設計(株)	中井 真司
	事務局	○		(株)エイト日本技術開発 地盤技術グループ	海原 荘一	
		○		(株)エイト日本技術開発 地盤技術グループ	只能 典子	
	支部監事	○		(株)荒谷建設コンサルタント	崎田 博史	
	○	(株)ウエスコ		伊達 裕樹		
		シンワ技研コンサルタント株式会社		多田 潔史		
		藤井基礎設計事務所		藤井 俊逸		
会計	○	中電技術コンサルタント(株)		桑田 志保		
	○	復建調査設計(株)		大村 拓志		
	○	住民防災	広島市防災士ネットワーク 代表世話人 柳迫 長三			

33名 ※括弧内は窓口、赤字は変更

※支部長・副支部長・監事を除く

地域	役割	砂防学会 正会員	所属	部署	氏名
四国	副支部長	○	大学・研究 機関関係	高知大学教育研究部自然科学系理工学部 教授	笹原 克夫
				愛媛大学大学院農学研究科 助教	木村 諒
				京都大学防災研究所 斜面未災害研究センター 附属 徳島地すべり観測所 准教授	山崎 新太郎
	副支部長		行政関係	四国地方整備局河川計画課 課長 (四国地方整備局河川計画課 課長補佐)	福井 慧 (川人 義功)
				四国地方整備局四国山地砂防事務所 事務所長 (四国地方整備局河川計画課 課長補佐)	野村 康裕 (川人 義功)
				四国森林管理局計画保全部 治山課長	黒岩 厚二
				徳島県土整備部砂防防災課 課長 (徳島県土整備部砂防防災課 係長)	姫氏原 健司 (小西 暁)
				徳島県農林水産部森林土木・保全課 課長	井村 慎也
				徳島県農林水産部森林土木・保全課 課長補佐	(村浪 彰英)
				香川県土木部河川砂防課 課長	細川 孝芳
				(香川県土木部河川砂防課 砂防・防災G 副主幹)	(宮脇 公嗣)
				香川県環境森林部森林・林業政策課 課長	松尾 直睦
				(香川県環境森林部森林・林業政策課森林土木・保安林Gr 主任技師)	(中條 弘幹)
				高知県土木部防災砂防課 課長	森本 剛正
				高知県林業振興・環境部治山林道課 課長	中屋 貴
			愛媛県土木部河川港湾局砂防課 課長	越智 健二 (愛媛県砂防)	
		愛媛県農林水産部森林局森林整備課 課長 (愛媛県農林水産部森林局森林整備課 治山係長)	若田 宗孝 (岩田 賢一)		
	○	民間コン サル関係	構管技術コンサルタント(株)	吉岡 恵	
	○		(株)荒谷建設コンサルタント 四国支社	稲村 貴志	

16 ※括弧内は窓口、赤字は変更

計41名(※支部長・副支部長・監事を除く)

(公社)砂防学会中四国支部 令和7年度事業計画(案)

1.活動方針

地域に密着した活動を通して、砂防に関する技術の交流、技術の向上、情報交換等を図るとともに、中国地域（山口、島根、鳥取、岡山、広島）と四国地域（愛媛、香川、徳島、高知）における災害発生時の緊急調査体制を迅速に整え、行政機関等との災害協定を締結し、災害の実態・原因の迅速な解明、二次災害の防止や災害復旧への貢献、関係機関への情報提供、一般の市民の土砂災害に対する知識や認識の向上等を図る。

2.活動内容案

以下の行事・活動を実施する予定である。

日程	内容	場所	備考
6月	令和7年度中四国支部定時総会	—	主催 メール審議
6月	宮島砂防学習の案内	宮島	協力
10月～11月	令和7年度中四国支部シンポジウム	—	主催
10月～11月	現地見学会		主催
6月～2月	砂防・防災に関する講演会 (他学会・協会と共催、後援)	—	主催、共催、後援
11月～3月	砂防関係キャリアガイダンス	—	主催
適宜	土砂災害発生時の緊急調査	—	—

(公社)砂防学会中四国支部 令和7年度予算(案)

1.収入

砂防学会本部からの助成金 7万円

2.支出

シンポジウム、講演会等の会場費・備品使用料金等 5万円

雑費（印刷費、事務費、災害調査用腕章等） 2万円

合計 7万円

<参考>

日程	内容	摘要	支出	備考
6月	令和7年度中四国支部定時総会	※メール審議のため支出を見込まない。	—	主催
6月	宮島砂防学習の案内	※会員ボランティア協力により支出を見込まない。	—	協力
10月～11月	令和7年度中四国支部シンポジウム	CPD, 講演謝金ほか	10,000	主催
10月～11月	現地見学会	移動費ほか	40,000	主催
6月～2月	砂防・防災に関する講演会 (他学会・協会と共催、後援)	※WEB開催のため支出を見込まない。	—	主催、共催 後援
10月～12月	砂防関係キャリアガイダンス	※WEB開催のため支出を見込まない。	—	主催
適宜	土砂災害発生時の 緊急調査、雑費・事務費	—	20,000	
合計			70,000	

令和7年度 公益社団法人砂防学会中四国支部 シンポジウム
議事次第(案)

日時：令和7年10月～11月(案)

場所：未定、WEB配信

プログラム(案)：未定(山林火災)をテーマにしたシンポジウムを検討中

以上

令和7年度 公益社団法人砂防学会中四国支部 現地見学会(案)

日時：令和7年10月～11月(案)

場所：未定

以上

令和7年度公益社団法人砂防学会中四国支部砂防関係キャリアガイダンス(案)

日時：令和7年11月～12月(案)

場所：未定、WEB併用予定

内容：

1. 国家公務員、地方公務員、建設コンサルタントの職種紹介
2. 参画企業紹介

(参考) 昨年度発表資料



Mr.エンデ
広島西部山系砂防事務所キャラクター

砂防事業(土砂災害対策)について



国土を想え、全力で届える
国土交通省
中国地方整備局

広島西部山系管内の特徴(過去の土砂災害の状況)

<p>昭和20年9月 枕崎台風</p>  <p>大野陸軍病院の患者用車が流され、国鉄山陽線軌道が土砂で埋没(田大野町)</p>	<p>昭和26年10月 ルーズ台風</p>  <p>土石流により国道2号や山陽本線など交通施設が被災(廿日市市大野)</p>	<p>昭和42年7月 梅雨前線暴雨</p>  <p>高さ50mの崖が崩壊し全壊した人家(呉市豊原)。この災害を受けて急傾斜地法が制定された。</p>
<p>平成11年6月29日土砂災害</p>  <p>土石流による被災状況(広島市安佐南区仲栄)。この災害を受けて土砂災害防止法が制定された。</p>	<p>平成26年8月20日豪雨災害</p>  <p>土石流による被災状況(広島市安佐南区八木)</p>	<p>平成30年7月豪雨災害</p>  <p>土砂・洪水災害により住宅地で広域に土砂が堆積(呉市天応高島)</p>

大規模災害対応(平成26年8月豪雨)

中国地方整備局を含む6整備局、国土技術政策総合研究所、国土地理院の専門家等延べ2,523人・日がTFC-FORCEとして活動。

① 浸流の緊急点検、河川・道路被災状況の調査
② 降雨時における産業活動の安全確保に関する助言
③ 土砂除去、排水作業等の実施、ボランティア等による土砂撤去作業の調整

国土・広島県関係機関におけるTEC-FORCE派遣者数(リエゾン等含む)

地域	人数	日数
大分県	243	147
熊本県	215	270
合計	2,523人・日	(809～923)

安田内閣総理大臣から TEC-FORCE隊員への激励

大田国土交通大臣から TEC-FORCE隊員への訓示

関係活動関係者への励み
土砂撤去について地域のかと調整
深高の緊急点検状況
施設被災状況の調査

最近の取り組み(ICTの活用事例)

広島西部山系砂防事務所の発注工事

- 従前は2次元の平面図を活用していたが、3次元モデルやARを活用することで、現場の見える化を実現。
- 現場の生産性向上を目的として、掘削・仮眠・盛土などの規模の大きい土工においてICT建設機械を活用。(工事の省力化)
- 自律四足歩行ロボットや遠隔操作を取り入れるなど、建設現場の生産性向上に向けた取組を推進

<p>3Dモデルの活用</p>  <p>大野山系砂防事務所 構造設計の 確認作業が 容易に 大野山系砂防事務所 大野山系砂防事務所 大野山系砂防事務所</p>	<p>ICT建設機械の活用</p>  <p>自律四足歩行ロボット ICTロボットの活用による 作業の省力化を実現</p>
<p>OAR(拡張現実)の活用</p>  <p>現場に重ねて表示された 3次元モデル 可視化・確認</p>	<p>自律四足歩行ロボット(SPOT)による計測</p>  <p>SPOTを使用した 現場計測</p>
<p>遠隔操作による施工</p>  <p>遠隔操作による 現場作業</p>	<p>デジタルトランスフォーメーション</p>  <p>デジタルトランスフォーメーション 現場作業</p>

以上